

兄×4姉妹の日常

のび


あ、お兄ちゃんおはよー。
ご飯は冷蔵庫にあるから
レンジでチンして食べてね。
おはよー。サキ
またキッチンで本読んでるの？
ソファーに座って読んだらいいのに。
あはは。
いやーなんかこっちのが
落ち着いて読めるんだよねー。
外の景色も見えるし
私のお気に入り。
そっかそっか。
ゆっくり読んで。
うん
こいつは妹のサキ。
俺たちは4女1男の5人兄妹だ。
サキは次女で一番しっかり者だ。
妹たちの世話や俺のことまで気にかけてくれる。
ついついこっちも甘えてしまいがちだ。
両親は二人とも共働きでよく出張にでてる。
だから俺たち兄妹は小さい頃からお互いを支えてきた。
とくに母が出張の時は妹たちが俺にべったりだった。


お互いの寂しさを埋め合うため妹たちと俺は昔からこうやってスキンシップをとりつつそのまま エッチする流れができた。
まぁ今では寂しさとかじゃなく普通にお互いの性欲を発散させてるみたいなところはある。
ん♡
んっ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
んっ♡
ちゅ♡
んっ。そろそろみんな起きてくるよ?♡
大丈夫今日休みだしまだぐっすりだよ。
あっ
もぅお兄ちゃんたら昨日したばっかじゃん?♡私読みたい本あるんだけどなー。
大丈夫大丈夫そのまま読んでていいから。
え?


サキはおっぱいをいじると
すぐエッチなモードに入る。
お互いの気持ちよくなるポイントを探しながら
俺も若干ムラムラしてたりすると流れ
そのまま工事してくれたりする。
聞いてくれたりする。
やだ…んっ、おにいちゃん
またそこばっかり
私がそこ弱いの知ってるでしょ
…んっ
んっ
あ
んっ
ん
あん
あん
ちゅ
ちゅ
コリ
コリ
コリ
コリ
あん
大休みだ
まだぐっすりだよ。
あれ？
そうだっけか？
んっ
あん
もうっ
昨日も同じこと言ってたー。あんっ
これやられると声出ちゃうから…
みんな起きちゃうでしょう。。。
あんっ
もみ
もみ
もみ
サキのおっぱい好きなんだから
しょうがないよ。
妹の中でお前のおっぱいが
一番揉み心地がいいんだよ～。
あとまだまだ起きないって
んもう


どうしたサキ
本読んでていいんだぞ？
本なんか読めるわけ
無いじゃない…。
あっ♡
んっ…。
何言ってるのよ
この状態で…んっ
入ってくる…
そっかそっかごめんごめん。
じゃあしばらくこっちに
集中して早朝エッチを
楽しもうじゃないか。
寝起きで朝立ちしたまま
妹のお〇んこに入れるとか
最高〜。


ふぁー。
おはよーーー。
朝からお盛んですねぇー
昨日も夜中までやってたし
おかげでこっちは睡眠不足だよ。
お、おはよーミキ。
おはよー。
お前がこの時間に
起きてくるって
珍しいな。
そりゃもうサキ姉の
声が家じゅうに響いてるからね。
そ、そんなに!?
恥ずかしいっ。
たしかにサキの声は大きいからなぁ…。


実は近所まで聞こえてたりしてねー。
あはははっ
ええええ!?
くそぅっミキのやつ
せっかくの早朝エッチを邪魔
しやがって!
おにいちゃんっ
んっもっとゆっくり…
ミキが大げさなだけだから
心配ないってっ。
まぁむこうは俺たちのエッチで
眠れなかったんだから怒るのも無理ないか…。

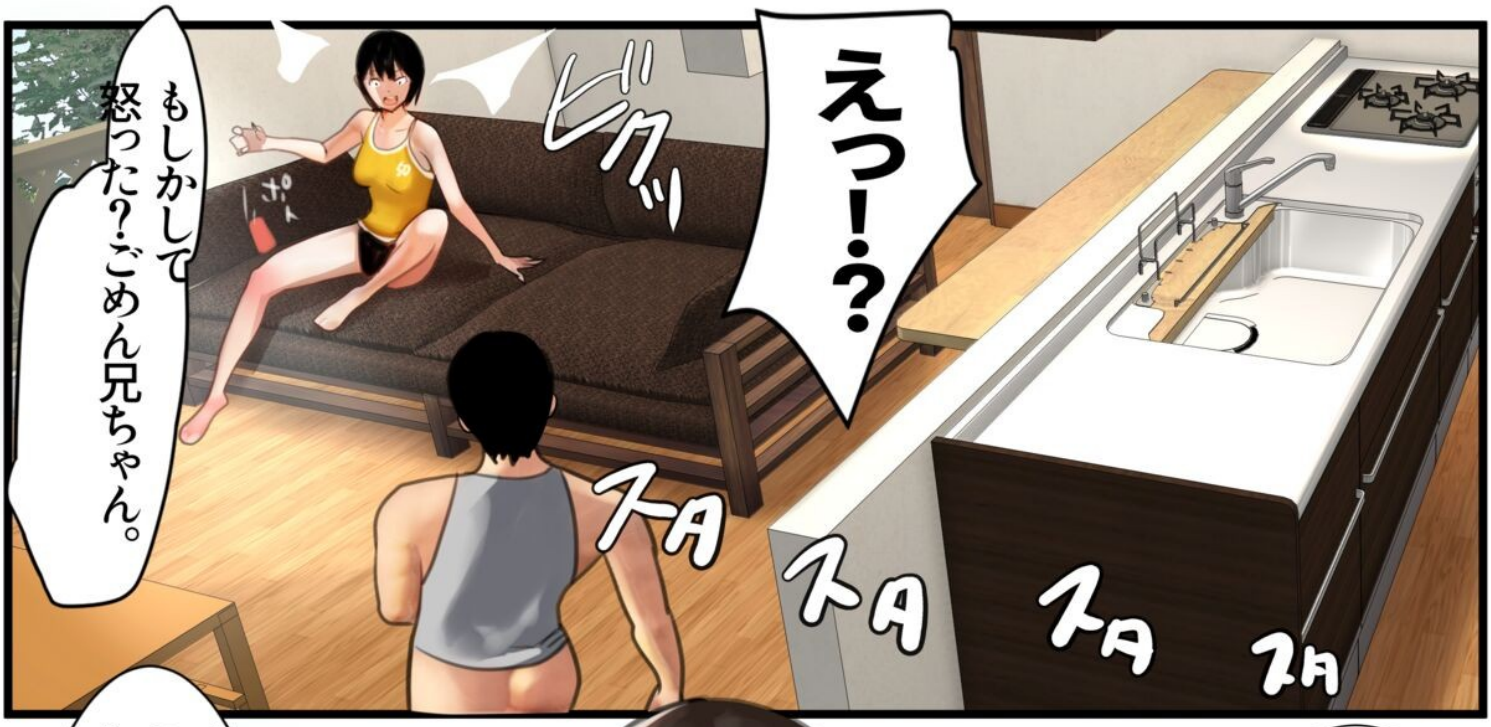

ねーお姉ちゃん
朝ごはんはー？
冷蔵庫に昨日の残りが
入ってるから
レンジでチンして食べて。
えー昨日の残りー？
私あれ苦手ー
インスタントもあるから
…んっ…それ食べて…あんっ
えー
わがまま言ってないで
自分で作ればいいだろー。
うるさいなーっ
兄ちゃんに聞いてないだろー。
ご飯食べたいけど
誰かさんがキッチンで
腰振ってるから無理なのー。
今日はやけに不機嫌だな。
まぁ睡眠も食事も邪魔されたんだから
仕方ないか。
悪いのはこっちのほうだ。


さすがにこれ以上長引かせるとミキが可哀そうだ。
俺は大好きな騎乗位でフィニッシュしようと
サキに合図した。
ああああっめちゃくちゃ
気もちいいよっ
んんっ…。
きもちいい？
この体位のチ○ポが食われていく感じが
たまらない。
ゆっくりと先っぽからどんどん
ヌチャっとしたお○んこに入っていく…。


ヌチャ
グポ
ヒク
ヒク
お…
ヒク
お…
パチッ
パチッ
パチッ
パチッ
パン
パン
ヒク


お兄ちゃん
私もうだめぇっ
いっちゃいそうっ！
サキの中気持ちい！？
お〇んぽ気持ちいい？
ねぇまじで声大きいって
ユキ姉もカナもまだねてるんだからさ
それに絶対近所まで聞こえてるってー
俺ももうやばいっ
くっ…。
ああっサキの
お〇んこは最高だよ！
イクよ！？
もうだめっ！
いくよっ！
ねぇ聞いてるー？
おにいちゃんっ


ドピュッ
あぁぁ♡
ちがぁぁ
ビュッ
ビュルル
ビュルル
ビュッ


えっ!?
ビクッ
スタ
スタ
スタ
スタ
もしかして怒った?ごめん兄ちゃん。


いや許さんぞミキ。
起してしまったのは悪かったと思ってるがエッチの途中に邪魔するのは良くないなっ!
ふぅ~
たじ
たじ
さてと…。
この前は中に出せなかったからなー。
今回はたっぷりと中だしさせてもらおうかなぁ。


こいつは三女のミキ。
姉妹の中でいつも俺に難癖をつけてつっかかってくる。
だけどこういう遠慮なく言い合えるってのは大切な気がする。
まぁなんだかんだで兄の俺には結局勝てないんだけどね…。
いや…、兄ちゃんごめんて。
まじでもう反省してるから。
あわわ…
あたし今日これから
友達と出かけないとだからさ…。
だめだ。
お前は俺とサキのモーニングエッチに
チャチャ入れて雰囲気を壊したんだからな。
おかげでこっちはまだ
ぜんぜん収まらないんだからな！
え!?
それはいつもじゃ？
なんだとーーー!?

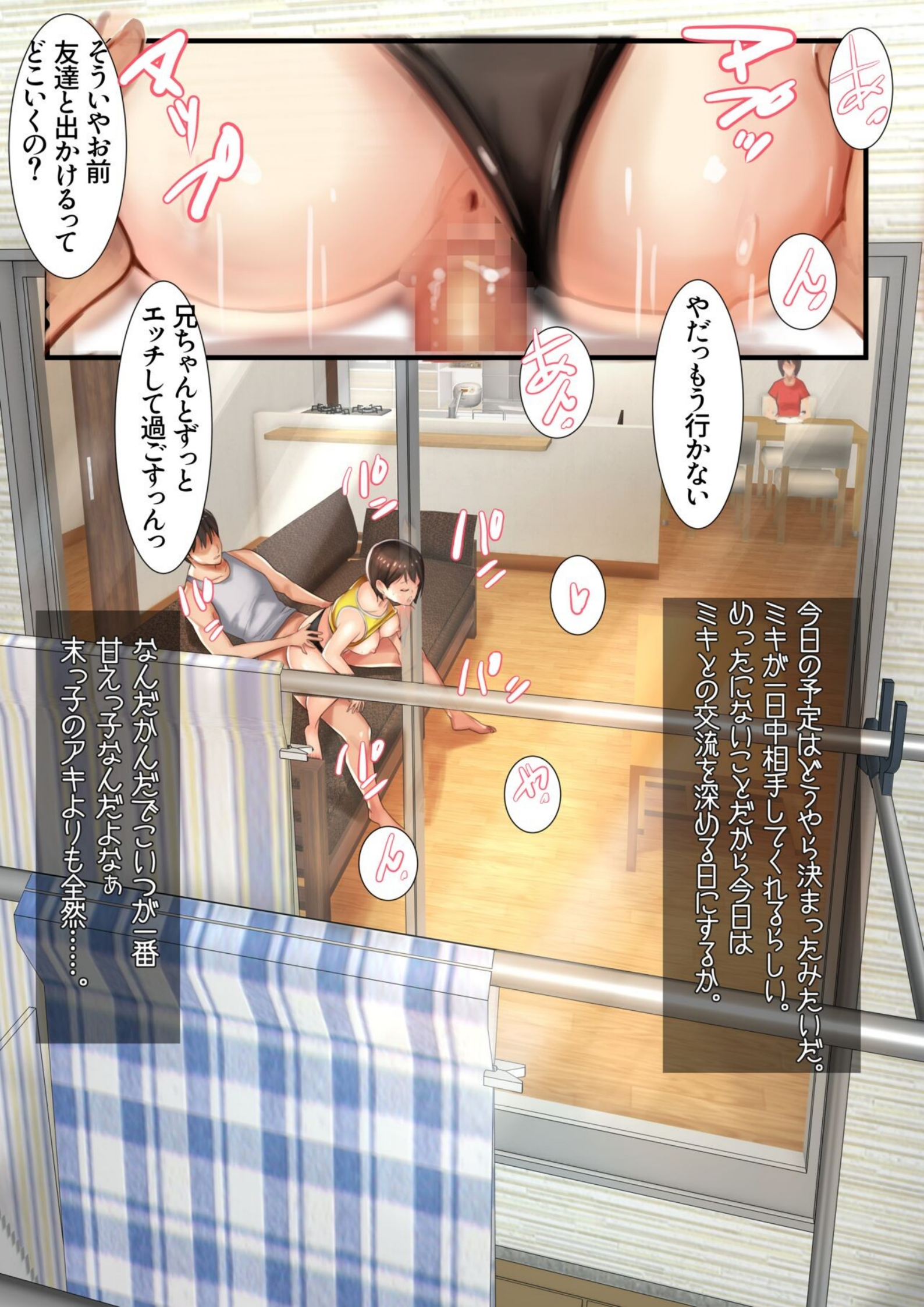

スリ
スリ
あ♡
ミキとのえっちはいつもこのパターンが多い。
言い過ぎたのを俺がち○こを使って
反省させる。
した後はまぁ大人しく言うこと聞くって感じ。
俺は妹たちの弱いところを熟知している。
ミキはあそこにチ○ポを擦りつけてやると
感じるらしい。
あ…
そこは…
ビクン
トロン
やだっ…んっ
だめっ…。♡
50
お前はほんとにもう
気持ちよくエッチしてる時に
邪魔するのは人として
最低だぞ!?
バスリ


たってだって
お兄ちゃんサキとばっかり！
私もお兄ちゃん独占したいもんっ
ウル
ウル
ミキもお兄ちゃんの事
大好きだもんっ
キュン♡
み、ミキ…。
そんなに俺の事…。
あははっ
んなわけないじゃんっ
まにうけんなよっ
まじうけるんですけど
ズキューン
一瞬でも信じた俺が馬鹿だったよ！
いつになってもこの性格直んねぇなミキ
ミキとのこういう会話は嫌いじゃない。
裏表ないミキの性格は好きだ。
だからエッチの時その表情を見てギャップを楽しんでる。


お前またおっぱい大きくなったんじゃないか？
やだっ大きいの気にしてるのに。部活の時周りがめっちゃ見てくるの嫌なんだよ。
まじかー。それはまた問題だなぁ
こちらとしてはおっぱい大きいの最高なんだが他の男に大事な妹のおっぱいをおかずにされるのは腹立たしいものだ。


んっ…あんっ
あっ
普段相談できないこともエッチをしながらだとすんなり話せたりするもんだ。とくにミキの場合はそれが多い。
おっぱいが大きいのはお前の魅力だから気にすんな。俺はお前のおっぱい好きだぞ！
逆に日常ではそこまで会話はなく挨拶とかその日のちょっとしたことくらいしか話さない。だからこうやってエッチでコミュニケーションを図るのが大事だと俺は思ってる。
あんっ
あっ
あんっ
あっ
やんっ
んっ
ばかっ…んっ…あんっ何言ってんだよ。目立つのが嫌なんだよ。こんな大きいんだぞっ
それにしてもおっぱいが大きくて悩んでるとか贅沢な悩みだ。まったく…。
バカはお前だっ大きくて形も良いおっぱいなんてなかなかないんだぞ！


なんだかんだでミキはお兄ちゃんの事好きなんだよなぁ。なんだかホッとしちゃう。
それにしても声響くなぁ…私もさっきあんなんだったのかな。もっと抑えなきゃ…。
あっ
あんっ
あっ
いやんっ
あん
んっ
あんっ
はぁ…はぁ…
はぁはぁ…。ミキ、ちょっと体位変えるぞ上になってくれ…。
うん…っ
しかし全然まだまだいける。やろうと思えば今日あと3回はいけるなぁマキ(長女)はまだ寝てるしな。起きたら相手してもらおうかな。楽しみだ…。
それにしても朝から二連続か…。昨日の夜中までサキとして朝もして俺の性欲は一体どうなってるんだ。我ながら恐怖を感じる。


今日の予定はどうやら決まったみたいだ。
ミキが一日中相手してくれるらしい。
めったにないことだから今日は
ミキとの交流を深める日にするか。
なんだかんだでこいつが一番
甘えっ子なんだよなぁ
末っ子のアキよりも全然……。
兄ちゃんとずっと
エッチして過ごすっんっ
やだっもう行かない
そういやお前
友達と出かけるって
どこいくの？


我が家の可愛い末っ子のアキ。
兄妹の中で一番のしっかり者だ。
兄の俺でもアキには頭が
上がらないことがある。
おはよーーー
サキお姉ちゃん
おはよーアキちゃん
本好きのサキとは話が合うらしい。
たまに二人で書店とか出かけてたりする。
まぁ別にアキは誰とでも仲良くするから
俺たちが嫌われてるとかそんなんじゃ
無いんだけどね。
おはよーアキ
やべぇ、ちょっとでちゃったっ
バカッ!!!
おはよーアキ。
今日は早いな…。


また朝からえっちしてー！！
私昨日夜中まで勉強してたんだからねー。
夜中もエッチしてたでしょー。
お兄ちゃんちょっとは静かに
できないの！？まったくもう
まぁまぁアキちゃん。
もうお兄ちゃんいきそうだから
待ってあげて♡
ぷるん
ぷるん
ごめんアキ…んっ
もうっいくっかっ
人が話してる時に
なんで普通に
パンパンさせてるのよ！
怒られてる時くらい
止めなよっもー。
すまんアキ…んっ
終わったら静かにするから
ん
ん
ん
ん
パン
パン
パン
パン
ズチッ
ズッ
あっやばい…
そろそろいくぞ
ミキっ…。
いいよっ
いっていいよっ
イクッ！！


ムリ
ムリムリ
ムリ
ビュビュ


気持ちよかったかミキ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
めちゃくちゃ気持ちよかった…。
この後俺とミキは末っ子のアキにボリュームを絞るようにと怒られた。
そしてミキは友達との約束を延期して一日中俺とのエッチに付き合ってくれた
合計8回ほどやった俺とミキは翌日の昼まで爆睡した。
トロォ
ポタ
ポタ
次回は長女か四女か!?
つづく


んん…。
甘いいい匂い…。
くんくん
あ、起きたかな？
お兄ちゃんおはよー。
そろそろ起きないとママたち
帰ってくるよー
四女のアキ。
普段はしっかり者で他の妹たちも
マキの言うことには素直に
応じたりする。
だけど週に一度くらいのペースで
エロエロモードに入る。
それになんだか
あそこが気持ちいいような…。
ンん…？
えっ？アキ！？
五人兄妹の日常～4女アキ～


エロモードに入ったアキは
他の姉妹にも劣らずエロくなる。
だから普段のしっかりした時と
ギャップがすごくて
俺はそこに興奮してる。
いつからいたの？
全然気づかなかったんだけど
ふぉ？
20分くらい前かな？
え！？
そんなに！？
全然
起きないんだもん
ごめんごめん
それにしても、まさか目覚める前から
フェラされてたとは気づかなかった。
昨日も夜中までエッチしてたから
疲れてたのかもしれない。


あーそれにしてもいい目覚めだ。
可愛い実の妹にフェラされながら
やさしく起してもらえるなんて
最高じゃないですかー。
毎朝こんな起こされ方したら
その日一日誰にでも
優しくなれる気がする。
それくらい幸福度が高い。
それにしてもアキのフェラが
うますぎてすでにいきそう…。
気づけなかった20分がもったいない
あーアキ…。
ちょっともうやばいかも
ん？
いきそう？
うん
気持ち良すぎてやばい…
いいよ
お口にだしていいよ
まじか…あっ


ああああああああっ
きもちいいいいいっ！
アキーーーっ！


ちょっアキ
今イッたばっかり…
ヌチッ
ヌプ
それにこの体位
お兄ちゃん好きでしょ？
アキ知ってるんだから。
なっ
す、すきだけど
ヘヘー
アキの中に入ってくよー。
ほら見てー
お兄ちゃん。
ヌプッ
ヌプッ
ゃんたちには
何度も中で出してるくせにー。
こうなったアキはほんと工口い。
こいつが彼ったらいいのにとさ
思ってしまうほどだ。


今日のアキはいつもより積極的だ
昨日ミキとのエッチを見せたからか？
今度またアキの見えるとこで
試してみよう…。
どうお兄ちゃん
気持ちいい？
アキのお〇んこ
気持ちいい？♡
あんっ
ああっ気持ちいいよっ
さいこうっんっ
アキもお兄ちゃんの
ち〇ぽ気持ちいいよ♡
気持ちいいけど
一度態勢を変えさせてくれ
いいよー♡
パチン
ボン
ズプ
ハァハァ


騎乗位は好きだが、あのままだとまたすぐにいってしまいそうだったので
あえて態勢を変えた。
さすがに寝起きですぐ2度はきつい…。
そういえば母さんたちいつ頃帰ってくるって？
んーお昼ごろじゃないかなぁ
さっきママからメールあったけど、お昼お寿司買ってくるって言ってたから。
今日はできれば一日中アキとエッチをしたかったが、両親がそろって出張から帰ってくる日だった。
こんなに上玉のアキはめったにないのにまったく…。
あんっおにいちゃんこれすごく良いかも…
俺もアキの小さいお尻見ながら入れるのめちゃくちゃ気持ちいいよ。
寿司かーいいね。アキ好きだもんな。
うんでもウニ苦手だからまた取り換えっこしてね。
オッケー。


ぐおおおーーー。
あはははっ
なにそれおにいちゃんっ
このままアキの部屋
行くかー。
それはだめーっ
なんでー？
お姉ちゃんたちに見られたら
恥ずかしいでしょー！
大丈夫だって
まだみんな寝てるからー
だめーーーっ
意外とこういう子供っぽいのが
アキにはうけるかもしれない…。
しっかりしてもやはりまだ幼いところがある。
ははは
ズッ
ズッ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ


わっ！！
ビクッ
よおーー。
おはよーアキちゃん。
なんだか楽しそうだなぁ
おはよー♥
ハイチーズ
カシャ
お、お姉ちゃん…。
な、なによぉ…。
私だってお兄ちゃんとエッチしたいもんっ♥
どり
って今なんか写真
撮ったでしょーー!?
どり


まったく。みきのやつ、また俺のエッチの最中に割り込みがって！！
あとでお仕置きしないとだな。
とにかく今はアキとのえっちに集中しよう。
そろそろ限界が近そうだ…。
もーミキ姉ちゃんに写真撮られたー！
大丈夫。あとで俺が消しといてやるから。
ほんと？絶対だよ絶対の絶対だよ！？
大丈夫。まかせとけ。
あとで画像送ってもらおう
アキ…俺もうそろそろ…
いいよ。アキの中にいっぱい出していいよっ


ビュルルル
ドクン
ドクン
ブル～
ブル
最高！！！



エッチに体力を完全に失った俺とアキは
ベッドに倒れ気絶するように眠りに落ちた。
そして母たちが帰ってくる頃に4人の妹たちが
優しく手こきで起こしてくれた。

つづく


さーてお風呂でも入って
さっぱりしよーかなーーっ
ラ～～ん
のび～
って！
マキ！？
そんな格好でなにしてんだよ！？
ガラガラ


あ、お兄ちゃん。お風呂？
私もう終わったから使ってもいいよー。ストレッチやったら出るから気にしないで。
マキ…おまえ
そんなかっこうでストレッチとか…
開けたのが父さんだったらどうすんだよ！？
えー大丈夫だって。父さんちゃんとノックするし見られても別に減るもんじゃなし
のび
ビクン
ビクン
ズプ
んぁ♡

長女のマキは俺より1つ下だ。
わりと自由奔放なとこがあってサバサバしてる。
だから周りからよく相談事とか持ち込まれる
そういうタイプだ。

そういうことじゃなくて

二人が家にいるときは
普通にしなきゃだめだろ!?

あんっんっ
ごめんなさいっ。気を付けるっ

マキは俺のよき理解者でもある。
俺が妹たちとエッチできるのも
マキの協力があったおかげだ。
だから俺の中で特別な存在
だったりもする。

ってお兄ちゃん
声出ちゃうからっ
バレちゃうからっ

ゆっくりやるからっ


パン
パン
パン
ズッ
ズリ
ん
ん
ん
あ
あーやばっ
マキいくぞっ
えっ!?もうっ!?
ちょっ早くない?
って私お風呂入ったばっかりなのに!
イクっ!
ビュッ
ビュル
ん
ん
んーーーっ♡


最近マキにあまりかまってなかったから
こいつとするの久しぶりでなんか
緊張するな。
にしてもあいかわらずムチムチのいい体してる。
たてるか？
そこにつかまって。
うん
そういえばストレッチ
してたんだよな？
よく伸ばしてー
のびー
んっ
んっ
んっ
ズッ
ズプ
ズプ
そういえばさお兄ちゃん…
すごく言いにくいんだけど…。
なっなに!?なに？
怖いんだけど!?
実はあれが遅れてて
できちゃったみたいなんだよね…。


この時はマジでビビった。
一瞬だけどさすがにこの関係が終わりなのかと頭をよぎった…。
えっ!?
サー
ちょっ
大丈夫大丈夫
全然そんなことないから。
ちょっとびっくりさせようかと思っただけだから安心してー。
でも面白かったから後でみんなに言おうっと。
ぶわっ!?
えっ、まじっ?
あはははっ
びびりすぎでしょーっ
なにその表情
超うけるんだけどー!
はー笑ったー。
はぁ
ぷるん
ぷるん


おまえはーーー！
なんかデジャブな気がしたのは
この前のミキのあれか！
まったくこいつら二人似やがって
これからも中で出しまくって
やるからな！


洗濯まわさなきゃー。
今お風呂誰も使ってないわよねー？
やばっ
母さんだっ！こっちくる！
えっ！？
とととっ
とりあえず風呂場に行くぞっ
このまま歩いてっ！
え？
このまま！？
ビクッ
今ちょっと出た？
いいから早くっ！


あら？マキはいってたの？
あんた髪染めたの？金髪よりこっちのがいいわよ。
ま、ママ。ありがとう。
そうか、こいつ昨日まで金髪だったな。
私もこっちのが気にってる。
ガミガミ
あんたが悪い方にいくんじゃないかと思って心配してたけど安心したわ。
もう大丈夫だよぉー
ミキがすぐあんたの真似するから心配なのよ。
ううっ…。
母さん話が始まると長いんだよなぁ…。
このままじゃち〇こ萎えちゃうよー


あんた長女
なんだからっもっとしっかりしないとっ
おかーさん。
携帯に着信あったみたいだよ
はぁ…
そうね。
ナイスアキー！
さすがっす！
あら
こんな時間に
誰かしら？
急用なんじゃない？
早く出たほうがいいよー
ガミガミ
ガミガミ


あぶなかったねー二人とも
私がいないとどうなってたか。
二人とも貸しねー。
ありがとうアキ。
まじで助かったー。
アキちゃん
ありがとうねー。
アキ、そろそろ
いきそうだから
手伝って。
えーーー。
じゃあお兄ちゃんは
貸し二つねー。


お兄ちゃん
乳首気持ちいい？
あぁっ
それ最高っ！
マキ、あそこ締め付けすぎ
すぐいっちゃうっって
だって気持ちいいんだもんっ
お兄ちゃんこそち○こ
さっきより大きくなってんじゃん
そりゃだって
こんなに気持ちよけりゃ
そうなるってっくっ
マキ
中に出すぞっ
いいよっ
いっぱい出してっ
お兄ちゃんのいっぱい
だしてぇーーー！
そろそろでないと
またママが
戻ってきちゃうっ
そうだな！
わすれてたっ
あっ
あん
パン
パン
パン
パン
パン
パン
プロ
プロ
プロ
プロ
プロ


ドピュ
ビュビュ
ビュルルル
ビュルルル
ビュ
ビュ
ビュ

マキとエッチした後
家族全員で夕飯を食べた。
そして兄妹そろって
借りてきたDVDを観ながら寝落ちした。

俺はこの家族に生まれて幸せだ。
こんなラッキーな人生はなかなか
無いと思う。

そして明日からまた妹たちとの
エッチな生活が続くのであった。



おしまい♥



これが毎朝お決まりの妹ととの会話だ。
妹はノーブラ主義で
顔を洗う時、おっぱいが洗面台について
冷っとするのがいやらしく
毎朝俺がおっぱいを持つのが
日課になっている。


朝の何気ない妹との会話が俺的には気に入っている。
兄妹で朝から普通にコミュニケーションできるのはとてもいいことだ。
帰りにコンビニ寄るんだけどついでに何か買うものある？
あーそうだなぁ
じゃあついでに今週号のジャ○プ買ってきて
オッケーだよ。私も読みたかったし。
ん～♪
お金はあとで払うわ。
うんオッケー。


もしかして
また大きくなった？
もーやっぱりー？
なんかまた重たくなった気が
してたんだよねー。
そろそろ成長止まってほしいマジで。
妹のおっぱいの成長が
止まらない。
毎日持ってるから
少しの変化も分かるようになった。
痛くない？
まぁ巨乳好きの俺にとっては
好都合だが、当の本人は
重たくて嫌らしい。
少しコンプレックスも
感じてるっぽい。
大丈夫よ
ごめんねお兄ちゃん
毎日持ってもらって。
持ってるの疲れるでしょー？
いや、ぜんぜん
大丈夫だよ…。
むしろ感謝。


ん
おにいちゃん…
すごい当たってるんだけど…。
すまん…
んっ
いいよ別に…
どうせお風呂入らなきゃだし
…。
だしてもいいよ。
時々だけど
妹は挿入を許してくれる。
おっぱいを持ってくれてる
お礼とでもいうのか…？
とにかく俺的には倍嬉しいことだ。


我が妹ながらいいお尻だ。
しかもあそこに入れたとき
締め付けがすごくて
すぐにでもイってしまいそうである。
ん♡
あん♡
ヌプ
ヌプッ
くっ…
気持ちいい…。
ん♡
ニヂッ
ヌプ
ヌプッ
別に早漏ではないんだけど
時間をかけて楽しんで
妹の朝の支度の時間を妨げるのはよくない。
しかも気を使って念入りに洗顔してくれてるし！
寝起きで妹のおっぱい揉めて
さらにチン〇も入れていいとか
俺はなんて幸せ者なのだろう。
通りで世の中に不満が無いわけだ。


あぁ
めちゃくちゃ
気持ちい…
ぬぷ
ぬぷ
ぬぷ
おにいちゃん…んっ
ひゃっ
ごめんっ
痛かったか？
ううん大丈夫
ちょっと刺激が
強かっただけ
すまん…
気持ち良すぎて…
勝手に腰が動いて…
んっ…もう早くイってよぉ
お母さんに声聞かれちゃう
ああっんっ…んっ
ちょっ、んっ…おにいちゃん
声出ちゃうからっあっ
もっと…んんっゆっくり…
あんっ…もっとゆっくりして。
ん
ん
ん
ん


んぁっおにいちゃんっ
もっとゆっくりってば
声…聞かれちゃうっ
ごめんっ…くっ
とまらなくて…
もうイクからっ
やだっ
コリコリしちゃっ
んっ んっ
それ弱いから
だめっ
ほんと妹じゃなかったら
付き合いたいくらい
妹との相性が最高だ。
まだ一度もないけど
このまま中に出して…
おにいちゃん
おにいちゃんっ
いっちゃうっ
俺もいくっ
ぱん
ぱん
ぱん


えっ!?
ちょっと
えっ!?
はあ」
ビクッ
ビクッ
ビュッ
ドプ
はあ
はあ
えっ!?ちょっとまって
中でだしたの!?
すまん
がまんできなくて…
ぽた
はあ
ぽた
ぽた
はあ
妊娠しちゃったらどうするのよ!?
ほんとありえないんだけどっ
おにいちゃんのバカ!
もー!ちゃんと
外に出さないと
だめじゃない!
はあ
すまん…。
こんなに声を荒げた妹を見たのは
初めてで、その迫力に俺のちん○は
すっかり縮みこんでしまい
中に入ったままのソレは
抜くというより抜けた…。
早く抜いてよっ
もう抜けてる…。
その後もこっぴどく怒られ
2,3日は口もきいてくれなかった。
たった一度の己の欲望のために
妹との幸せな時間を壊してしまったことを
酷く後悔した…。
もう二度と妹とできないかと思うと
絶望して何も手につかない日々が続いた。


……。
お兄ちゃんおはよー…。
お、おはよー…。
しまった…。
てっきりもう済ませてたのかと
思ってたのに…気まずい。
だからさ…。
よかったら、その…。顔洗ってる間
おっぱい持っててくれないかな？
顔洗おうと思ってたんだけどさ…
ちょっとおっぱいが重たくて…
洗面台に乗っけるのも
嫌だしさ…。
はい！！！
もう駄目だと思ってた兄妹仲も無事回復して
俺はまた妹のおっぱい持ち担当として
復帰できることになった。
おしまい★